

# みき通信

くぼたみき 活動報告

第29号 2013年4月20日

発行 がんばれ くぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

## 首相とメディアの会食が 止まらない！

これで  
いいの？

安倍首相と大手メディア幹部との会食が、3月31日のしんぶん赤旗で「大手5紙・在京TVトップ首相と会食」と報じられましたが、その後も会食は続いています。政治の最高権力者が、何の意図もたず接触を求めるはずもなく、異常な事態です。

ところで、昨年の総選挙の「1票の格差」について 違憲、選挙無効の判決が相次ぎ、衆議院の選挙制度改革は緊急の課題です。

テレビでも多くの番組が取り上げていますが、「1票の格差がなぜ起こるのか」を掘り下げず、「小選挙区定数を0増5減」「比例定数30削減」の主張を語らせています。

そもそも小選挙区制は大政党に有利で、議席に結びつかない「死に票」が多いという、民意を反映しない制度です。1票の格差をなくすには、投票数そのまま反映される比例代表制度への改革こそ、真剣に検討されるべきでしょう。

今このほかにも安倍政権が突き進む、TPP交渉参加、沖縄のオスプレイ配備や基地問題、原発とエネルギーのこと、消費税増税、憲法改悪の動きなど、どれも国を二分する重要な問題ですが、多面的に情報が伝えられてはいません。

首相との会食で、権力との独立性を失った日本のメディアの実態がそうさせているのでしょう。

情報に振り回されないで、しっかりした目で見ていくことが必要ですね！。

## 原発・津波、被災地に心寄せて

くぼたみき

このところ「春うらら」というより、「暑いね」と、感じる日々でした。桜の開花も早く、何か地球をいじめてきた結果？と考えてしまいます。

震災から2年が過ぎ、原発事故の報道が減っているのではないのでしょうか。更地となったままの被災地。福島では震災当時のまま立ち入ることも許されない地域もあります。原発や放射線量の話をすると「まだそんなことを言ってるの。数値は安全基準値内じゃない」という声があり、福島の現実が人々の関心から遠ざかっているのではと気になります。

しかし首相官邸前では原発再稼働反対のパレードが今も続いています。そして原発問題は福島だけの問題ではないと、官邸前だけでなく全国に広がり各地でパレードが行われるようになりました。ずっとずっとあげられている声をマスコミも安倍首相も見えないのか、聞こえないのか、報道はされないが安全基準を満たしているから稼働しても安全と、再稼働に向けた動きが見られます。その安全基準は果たして本当に安全なのかが問われているのに。再生可能エネルギーへの変換にはお金がかかると否定的です。

まだまだ増え続ける汚染水、除去が難しいトリチウム、山積みの問題をどうするのか。昨年末には「トモダチ作戦」で被爆した米軍兵士8名が東電を告訴し、巨額の賠償請求をしましたが、今では1700人が集団提訴を起こしました。

今話題の「アベノミクス」は、一部の企業の経済効果しか期待できないもので、生活環境こそ上向きになってほしいという私たちの願いを裏切る政策です。イベントのような呼び名でごまかし、社会保障もどんどん切り捨てられます。命と暮らしを守るには、つぎの選挙でこの流れを変えなければなりません。そして、町独自でも考えるべき事はたくさんあります。すぐに改善するのは難しくとも、声を上げ行動していくことが変えていくことに繋がります。

議員になり2年、折り返し地点。議会用語にも何とか慣れ活動しています。皆様のご意見を町に届けるよう更にアンテナを広げます。